

ケアワーカーの職務評価

全国調査

協力をお願い

私たち均等待遇アクション21 京都（均等京都）は、ケアワーカーの全国規模での職務評価をしようとする取り組みを進めています。

子ども、障害者、老人の世話などは、従来から、家庭内での女性の無償労働とされ、仕事の内容が吟味されないまま、「誰にでもできる仕事」として不当に低く評価されています。そのため、本来の仕事の価値に見合った報酬単価が設定されておらず、公正な賃金が支払われていません。

ケアワーカーの仕事の価値に見合った賃金を実現するために、私たちは、この全国調査を行います。ケアワーカーひとりひとりが、この調査に参加することで、自らの仕事の価値の高さにさらに強い確信を持つことも、この調査の目的のひとつです。そのためにも、多くのケアワーカーに調査に参加いただけますよう、全国のケアワーカーのみなさん、また関心を持たれる団体・個人に、調査への参加と協力を呼びかけます。

2011年8月7日（日）に、白崎朝子さんを講師にお迎えして、全国調査スタート集会「どうして安い、介護の仕事？」を行います。一斉全国調査は、その集会の後にいきますが、それまでの間、随時、少人数での説明会や、ワークショップの出前など行います。お気軽にお問い合わせください。

また、全国調査のための賛同人、賛同団体も募集しております。全国調査成功のためにぜひご協力おねがいします。（個人1口1000円、団体1口3000円、複数口歓迎）



均等待遇アクション21 京都

〒611-0031 京都府宇治市広野町西裏 99-14 第一パールビル 3F
email: k21kyoto@gmail.com tel: 0774-43-8734 fax: 0774-44-3102
http://kinto.blog52.fc2.com/ 郵便振替口座 00980-4-296529

ケアワーカーの職務評価全国調査スタート集会

どうして安い、 介護の仕事？

2011年8月7日（日）午後2時～

講師： 白崎 朝子さん

（安全な労働と所得保障を求める女性介護労働者の会）

場所： ひと・まち交流館 京都

『介護労働を生きる』の著者白崎朝子さんから、介護労働の現場のお話をきいて、参加者全員で、介護労働の未来につながる議論をしましょう。

ケアワーカーの職務評価全国調査に賛同します

お名前（団体名） _____

連絡先（メールアドレス等） _____

賛同金 _____ 円

職務評価とは

仕事の価値を測る手法を「職務評価」と言います。2001年京都地方裁判所が出した「京ガス男女賃金差別事件判決」や2009年10月最高裁判所で確定した「兼松男女賃金差別事件判決」では、この手法で点数化された仕事の価値が裁判の証拠として採用されました。

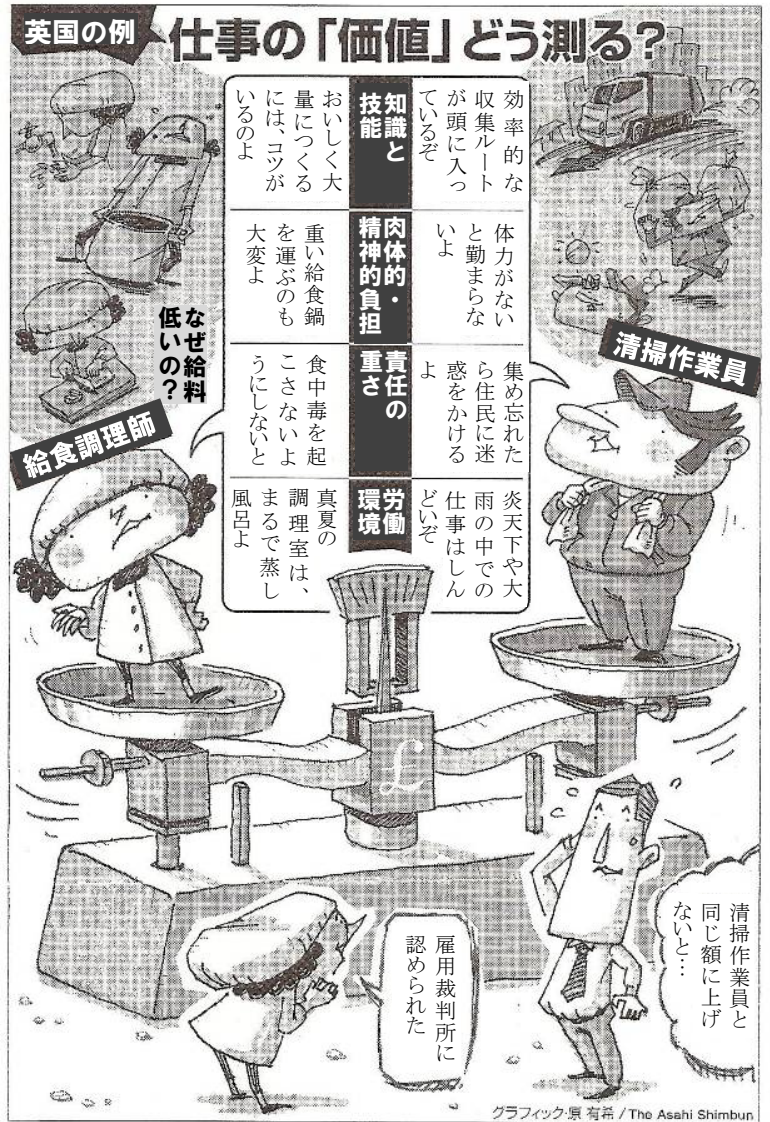
職務評価で最も大切なことは、比較・評価されるのは労働者が従事する仕事そのものであり、その仕事に従事している男性個人や女性個人ではないということです。言い換えれば、「性に中立に、仕事の内容を評価し、人を評価するのではない」ということです。

職務評価は、負担、労働環境、技能、責任の4つの要因で評価します。2009年4月26日の朝日新聞の図がわかりやすいので転載します。この図のように、職務を4つの側面から評価することで、客観的で平等な評価をすることができます。

ケアワーカーとは、ケアを仕事にする人です。ケアとは何らかの理由によって他人の援助を必要とする人（子ども、障害者、病人、高齢者、貧困者など、経済的・身体的・精神的困難を抱えている人）に対して、必要な援助を提供することです。したがってケアワークの範囲は広くみれば、福祉事務所などの公共サービスから、医療、教育までも含むものとなります。この中には、正規雇用の公務員や、開業医なども含まれますが、私たちが特に問題にしたい層は、ケアワーカーの中でも低賃金の施設職員、ホームヘルパー、障害者の作業所や訓練施設の指導員、グループホーム等の世話人、病院の看護助手、非正規雇用の保育士などです。これらのケアワーカーの賃金が低いことは、ケアワーカー本人の生活不安だけでなく、低賃金であることからくる人手不足や長時間労働が、サービスの質や供給量を落とし、利用者の不利益にもなっています。私たちは職務評価を通じてケアワークの価値と賃金の開きの実態を数値化し、社会に示すことで、その是正の一助につなげたいと考えています。

子ども、障害者、老人の世話などは、従来から、家庭内での女性の無償労働とされ、仕事の内容が吟味されないまま、「誰にでもできる仕事」として不当に低く評価されています。それは、例えばホームヘルプサービスの中で、生活援助（家事援助）の報酬単価（報酬単価とは、サービスの種類ごとに、行政から支払われる料金の単価のこと。）が、排泄や入浴の報酬単価の半分以下に定められていることなどにも、如実に現れています。また、例えば、利用者と良好なコミュニケーションをとることは、ケアワークのすべての仕事の基本になる専門的な技能ですが、賃金に結びつく形では評価されていません。また、そもそも、必要とされる職務内容自体に、さまざまな見解があり、確立していません。ケアワークの職務評価を行って、職務を分析し数値化することによって、議論の共通の土台をつくり、職務の価値に見合った、社会的に公正な評価と賃金を実現するための、糸口となるのではないかと、私たちは考えています。

子ども、障害者、老人の世話などは、従来から、家庭内での女性の無償労働とされ、仕事の内容が吟味されないまま、「誰にでもできる仕事」として不当に低く評価されています。それは、例えばホームヘルプサービスの中で、生活援助（家事援助）の報酬単価（報酬単価とは、サービスの種類ごとに、行政から支払われる料金の単価のこと。）が、排泄や入浴の報酬単価の半分以下に定められていることなどにも、如実に現れています。また、例えば、利用者と良好なコミュニケーションをとることは、ケアワークのすべての仕事の基本になる専門的な技能ですが、賃金に結びつく形では評価されていません。また、そもそも、必要とされる職務内容自体に、さまざまな見解があり、確立していません。ケアワークの職務評価を行って、職務を分析し数値化することによって、議論の共通の土台をつくり、職務の価値に見合った、社会的に公正な評価と賃金を実現するための、糸口となるのではないかと、私たちは考えています。



2009/4/26 朝日新聞より

均等京都オリジナル冊子 好評販売・配布中！

・「職務評価して均等待遇を実現しよう！」

ペイ・エクイティ（同一価値労働同一賃金）の実践講座ハンドブック ￥300

・「ケアワーカーの職務評価 普及版」 ケアワーカーに特化した職務評価調査票